

曹洞宗

# 群馬県宗務所 第13教区報

第12号

令和6年1月1日発行

## 新教区長 就任挨拶



曹洞宗群馬県宗務所  
第13教区 教区長  
海源寺住職 岩崎義幸

**先ず、目標を持とう！  
目標無き者に計画なし  
計画無き者に実行なし  
実行無き者に夢はなし  
故に目標を持とう！**

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、謹んで貴家皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

私は、昨年6月に第13教区長を拝命いたしました。前教区長の永隣寺住職 堀口元澄老師におかれましては、コロナ禍にありながら大般若経をイタリア普伝寺様に送る世界平和を祈る活動や

ウクライナ難民支援の御朱印活動、そして平成30年以来となる、東日本大震災支援活動による岩手県陸前高田市での十三回忌法要と炊き出しや支援物資のお届け等積極的に活動され、多大な貢献をなされました。

私には、歴代教区長老師のような力はございませんし、行き届かぬ点もあると思いますが、皆様のご指導ご協力をいただきながら、教区の発展と興隆の為に尽くしてまいりますので、宜しくお願いいたします。

さて、表題の言葉は、高校野球を通じて出会った言葉です。高校球児の多くは、甲子園出場が目標の一つかと思います。

皆さんの今年の目標は、なんですか？新しい年を迎え、これから始まる一年は、たくさんの可能性に満ちています。物事を始める時は、しっかり計画を立てて行動したいものですが、なかなか思い通りにならないものです。しかし、願う心を失くしてしまったり、前に進みません。目標を持ち、少しでもそれに近づけるように行動を起こすことが大切だと思います。

合掌

## 教区長 退任挨拶



前教区長  
永隣寺住職 堀口元澄

昨年6月に当教区長の任期を終え、岩崎義幸老師にバトンタッチいたしました。任期中の大半はコロナ禍のため、活動が大幅に制限されてしまいました。それにも関わらず、普伝寺へ大般若経を贈るプロジェクトのような活動が成功できたのは、寺院・檀信徒のたくさんの力の結集があったからこそだと思います。「為せば成る」ということを実感しました。私自身大してお役に立てませんでしたがお力添えいただき感謝申し上げます。

13教区 31ヶ寺院

- 富岡
  - 菅原
  - 南井
  - 上下尾
  - 下田
  - 上丹
  - 宇生
  - 宮崎
  - 宮崎
  - 一ノ宮
  - 一下高瀬
  - 富岡
  - 岡本
  - 下田
  - 本宿
  - 中坂
  - 南牧村
  - 檜沢
  - 甘楽町
  - 轟引
  - 天引
  - 小幡
  - 善慶
  - 国慶
  - 国慶
  - 白倉
  - 小川
  - 秋川
  - 秋川
  - 小幡
  - 天引
  - 秋引
  - 高崎市
  - 上奥
- 
- 陽雲寺
  - 最興寺
  - 長学寺
  - 生寿寺
  - 永隣寺
  - 金乗寺
  - 神守寺
  - 桃林寺
  - 永乘寺
  - 三會寺
  - 連珠寺
  - 光厳寺
  - 海源寺
  - 福壽寺
  - 長楽寺
  - 延命寺
  - 中宿寺
  - 南牧村
  - 檜沢
  - 甘楽町
  - 轟引
  - 天引
  - 向陽寺
  - 宝泉寺
  - 福慶寺
  - 興善寺
  - 長善寺
  - 松泉寺
  - 宝林寺
  - 天徳寺
  - 西光寺
  - 松慶寺
  - 寿福寺
  - 泉龍寺
  - 宗伝寺

# ヨーロッパ通信

曹洞宗ヨーロッパ国際布教総監 峯岸正典



昨年12月を以て、四年の任期を終えることができました。振り返れば、全身麻酔による手術二回、歯の抜けること三回、コロナによるロックダウンを二回、衣やお袈裟が入ったスーツケースが行方不明、貴重品のみを入れた鞆が置き引きにあうなど、大変な四年間でした。しかし、豊かで、忘れることのできない仏道の充実と出会いがヨーロッパにはありました。

在任中、百人近くの出家者が生まれ、両大本山のお直末となった寺院が二カ寺、晋山式に責任者として立ち会うこと二回、ドイツでの参禅、ベルギーでの新道場のお披露目、イタリア、オランダ、スイス、スペイン、フランスで何回も行われた「修行僧が一人前になるための儀式(法戦式)」に加え、ロサンゼルスとペルーのリマというふうに出張の多い職務でした。アイスランドからポルトガルまで五百名近くの修行僧が活動するなか、スタッフに恵まれ、自分の修行を深めることもできました。宗教間対話の積み重ねから、ローマ教皇に、わざわざ「お誕生日おめでとう」と言っていたく奇縁もありました。

旧年10月、欧州を中心として南米、北米、日本から一六二名の僧侶が参集し、大本山總持寺御開山、瑩山紹瑾禅師の七百回大遠忌予修法要を円成できたことに深謝しています。坐禅に傾倒し、普段、あまり法要とは縁のない欧州の宗侶が法要の真意に触れ、何かが変わったと感じました。

第13教区の御寺院、檀信徒の皆様イタリア、普伝寺への大般若経六百巻の寄贈、またウクライナへのご支援は私の心の支えとなりました。世界には悲惨な現実が山積し、私たちの課題は大きいのですが、皆さまと、より良い方向に歩いていくことができるように祈願し、御挨拶といたします。



## 東北被災地支援活動 令和5年5月30・31日



陸前高田市竹駒町の下沢公民館を訪れ、東日本大震災の犠牲者を偲ぶ十三回忌追善供養法要を行いました。交流がある同市米崎町、旧佐野仮設団地の住民を招き、故人や震災当時への思いを込めて供養いたしました。



第13教区では、震災後より毎年のように陸前高田市を訪れて、物資や食事の支援、慰霊法要などを通して住民に寄り添ってまいりましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、今回は5年ぶりの訪問となりました。当日は、十三回忌法要のほか、参列者に焼きまんじゅうやうどんを振る舞いました。13教区や群馬県内外の寺院関係者15名で訪れて、招いた住民の方々との再会を喜び合いました。

## ウクライナ難民支援活動



### ウクライナ難民支援御朱印

昨年11月1日～今年5月31日までの期間で「平和への祈りと禅語に親しむ巡礼」を始めました。県内の協力寺院を巡って御朱印をいただく事での志納金を元に、ポーランドに避難しているウクライナ難民に支援物資を届ける事業となります。協力寺院の御朱印には禅語が書かれ、その説明文も付属します。オリジナルの専用御朱印帳も用意し、参拝寺院数が増えるほど禅語が学べ、全て参拝すると禅語帳が仕上がります。

今回2回目の取り組みにあたり、昨年6月にアンドリュー夫妻がポーランドの避難所に赴いた際、目の当たりにした現状を帰国後に報告いただきました。戦争は長引き、近隣諸国の情勢も不安定になり、未だに混乱が続いていることや物資が足りないということから、再度取り組みを行う運びとなりました。群馬県内の東から西へと広範囲となりますが、35ヶ寺1社の協力のもと行われています。皆さんがお寺へ参拝し、平和への祈りと共に、心の中に禅の智慧を響かせる機会となれば幸いです。

志納金は支援金となり、窓口のアンドリューさんがポーランドのシェラツ郡から必要な物資リストをもらいます。そして、支援金を元手にインターネットで現地のスーパーに物資を発注し、シェラツ郡の役所へ配送の後、各避難所に分けられます。輸送コストが削減できるので支援金を有効に活用できます。

我々は僧侶でありますので、今回のような紛争地域、戦争状態の国に関する事は、戦争への加担となることのないよう注意を払わなくてはなりません。活動の主題を「ウクライナ支援」としますと、ウクライナによる戦争行為を応援する活動と受け取る方もいるかも知れませんが、「ウクライナ難民支援」を主題としています。

皆様もご自分のできる範囲で人道支援にご協力をいただけますようお願い申し上げます。

**志納金の目安**

◆オリジナル御朱印帳(ご支援専用)  
2,000円以上にて授与 ※オリジナル御朱印帳は数に限りがございます。

◆禅語御朱印  
各300円以上にて授与

◆コラボ御朱印  
各300円以上にて授与  
※20ヶ寺以上参拝で授与

**コラボ御朱印**  
合作御朱印

2寺1社の合作御朱印  
(4ページ)

20ヶ寺以上を参拝しますと、2寺1社の特別なコラボ御朱印が授与されます。全寺院参拝された方には2寺1社よりコラボ御朱印に満願成就の書き入れやスタンプが押印されます。

### 第13教区並びに12教区では、引き続きウクライナ避難民支援活動を行います。

ご支援いただける方は、募金箱を置いている寺院もありますので、そちらに募金を預けるか、右記の口座まで郵便局から振り込んでください。

口座記号番号	00240-6-107091
加入者名	曹洞宗群馬県宗務所第13教区
通信欄	ウクライナ避難民支援募金 とご記入ください。

## 大般若経イタリア普伝寺寄贈プロジェクト

### 大般若経600巻・釈迦十六善神図がイタリア普伝寺に届く

令和2年に発足し、多くの檀信徒の皆様にご寄付いただいたこのプロジェクトですが、ようやく令和5年2月初旬に「大般若経600巻」と「釈迦十六善神図」を航空便で発送し、イタリア普伝寺へ無事寄贈することができました。

3月には13教区の代表としてヨーロッパ国際布教総監 峯岸正典老師、日本から拙僧堀口智玄と高崎市長年寺副住職 喜美候部峻正師の3人で普伝寺を訪れ、峯岸老師による大般若経についての講義をしていただき、イタリアでは初めてとなる大般若法要をおこなってきました。法要の練習は1日だけでしたが、初めてとは思えないほどの法要を勤めることができました。また、普伝寺側でも寄付を募り、一緒に進めた事業ではありますが、大般若経の寄贈を涙が出るほど嬉しかったと大変喜んでくださいました。

この事業に賛同しご寄付、ご協力をくださった皆様に改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。(神守寺住職 堀口智玄)



### イタリア普伝寺旅行団来日

今年、創立40周年を迎えた普伝寺は記念行事の一つとして、令和5年11月6日～18日の日程で、僧侶7名、信徒38名が日本を訪れました。御一行は、曹洞宗の兩大本山、京都、奈良、長崎と旅行をしましたが、甘楽富岡地区にも訪れ、永隣寺、長学寺、長楽寺を参拝し、磯部温泉に1泊しました。

### 永隣寺参拝 令和5年11月9日

永隣寺では、本尊様に般若心経をお唱えし、昼食に「登利平」のお弁当とお味噌汁を召し上がっていただきました。また、普伝寺でのお餅つき用に同寺檀信徒の渡辺夫妻より「もち米」が寄贈されました。

#### 〈永隣寺住職 堀口元澄老師のコメント〉

当山副住職智玄が普伝寺様とのご縁をいただいて7年。秋晴れと菊花満開の中、護持会役員や以前交流した坐禅会の方々などが集まり、イタリアからの佳賓をお迎えしました。短い時間でしたが、楽しい思い出と清々しい風を残して行かれました。



**長学寺「13教区主催 日伊合同大般若会祈祷会」 令和5年11月9日**



〈甘楽町 かんら太鼓様にご協力いただきました。〉

大般若経の提供元である長学寺では、教区内外の寺院25名、一般檀信徒35名、イタリア普伝寺の旅行団45名が参列し、「日伊合同大般若会祈祷会」を開催いたしました。

初めに大般若祈祷法要を行い、日本人、イタリア人が共に国際社会の平和を祈りました。次に、普伝寺内のグループ「普伝太鼓」による和太鼓パフォーマンスを披露していただきました。その後、パネルディスカッションにて日本とイタリアの宗教観の違いや先祖供養についてなどを意見交換しました。

また、寺族会から午後のおやつに「焼きまんじゅう」が振舞われました。長学寺からは「法螺貝」が贈られました。

〈長学寺住職 生沼善裕老師のコメント〉

今回の交流を通じて刺激を受けた点がいくつかありました。イタリア人参加者に若い子が多い、挨拶や姿勢、般若心経の暗記等、我々も布教活動に一層精進しなければと感じました。

この度は貴重なご縁をいただき、有意義な交流ができた事に感謝いたします。

**長楽寺参拝 令和5年11月10日**



〈長楽寺住職 峯岸典慶老師のコメント〉

言葉をこえて、心が通じ合うような時間を共有できたのではないかと感じています。今回の出来事が一回きりのイベントで終わることなく、日本とイタリアの双方で、今後繋がりていくことを願っています。

ヨーロッパ国際布教総監を峯岸正典老師(長楽寺東堂)が勤めているご縁から、長楽寺を磯部温泉宿泊後に訪れました。

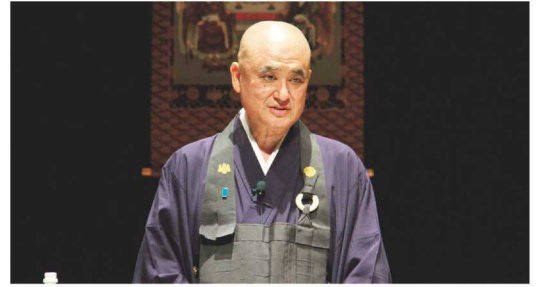
長楽寺では、館林市雲龍寺伊東俊道老師が点てたお茶を本尊様にお供えし、般若心経をお唱えして、旅の安全を祈願しました。法要後はグループに分かれて、茶道体験、諸堂拝観、法螺貝レッスンをしました。

## 第17回微笑会 令和5年6月17日

6月17日甘楽町文化会館にて『第17回微笑会』が開催されました。微笑会とは、13教区の護持会が主催する『禅に学ぶひととき』と題した公開講演会です。

今回は、曹洞宗特派布教師としてもご活躍されている、新潟県田上町 東龍寺御住職 渡邊宣昭老師より、『微笑みの仏～菩薩行に生きる～』と題しお話いただきました。渡邊老師はユーモアを交えたお話や、修行中の話など、和やかな雰囲気の中ご法話をいただき、参加者からは、『毎日の生活の中にも仏の世界が存在していた』『生かされている事の大切さを感じた』などの声をいただきました。

また、併せて椅子坐禅の体験や、ウクライナ避難民の支援活動の報告と募金の呼びかけをさせていただきました。



新潟県 東龍寺御住職 渡邊宣昭老師



アンドリユー夫妻による  
ウクライナ避難民支援報告

### ◆第18回微笑会は以下の日程で開催予定◆

日時：令和6年6月15日(土) 午後2時開演 会場：甘楽町文化会館

講師：大本山永平寺副監院 栃木県足利市 明林寺住職 西田正法老師

入場無料 どなたでも参加できます 微笑会ホームページアドレス <http://misyoue.main.jp>

## 第10回 寺院に親しむ講座 令和5年11月17日

### ～楽しみながら描くマンダラ教室～

甘楽町 宝積寺において第10回寺院に親しむ講座が開催されました。秋谷恭子先生の指導のもと、参加者がそれぞれの想いを込めて、丁寧にマンダラを描きました。色彩豊かで、それぞれ個性のあるマンダラが完成しました。和やかで、心温まる楽しい時間となり、自ら描いたマンダラを持ち帰る皆さまのお顔は笑顔にあふれていました。

なお、秋谷先生のマンダラ教室は隔月にて開催されています。参加のお申し込みは宝積寺(0274-74-2743)まで。



## 施食会作法講習会 令和5年11月19日

新潟県 正壽寺住職 呉定明老師を講師にお迎えし、甘楽町宝積寺において施食会作法講習会を開催いたしました。各寺院において修行される施食会について、より一層深く学ぶことにより、研鑽を積ませていただきました。



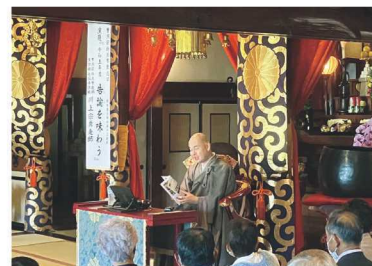
## 寶積寺46・47世先住忌・徒弟得度式 令和5年6月18日

新潟県 正壽寺住職 呉定明老師に御導師をお勤めいただき、先々代 46世 穆堂静観大和尚七十回忌・先代47世 穆英静裕大和尚五十回忌法要と寶積寺徒弟 西有輪音沙弥尼(住職長女)の得度式が修行されました。僧侶の仲間入りをいたしました輪音沙弥尼は現在、駒澤大学院仏教学部で仏教学を学んでいます。親族、総代の方々に見守られる中、厳肅に両法要は執り行われました。



## 特派布教巡回 令和5年10月3日

特派布教とは曹洞宗の本部布教であり、今回は光嚴寺を会場として開催されました。特派布教師の東京都台東区 永伝寺御住職 川上宗勇老師をお迎えし、「告諭を味わう」という演題で法話を賜りました。告諭とは、毎年曹洞宗管長が発表するお言葉であり、分かち合い、支え合い、思いを重ね合って、人と人との繋がりを深めて参りましょうとのお言葉がありました。



東京都台東区 永伝寺御住職  
川上宗勇老師

## 一期一会仏画展

令和5年10月24日～29日

大般若イタリア普伝寺寄贈プロジェクトでお世話になっている細谷義昭先生が主宰されている一期一会仏画展が富岡市立美術博物館市民ギャラリーにて開催されました。仏画の鮮やかさ、細やかさに驚かされる作品が多数展示されました。会期中は多くの方が訪れ、大変な賑わいでした。



## 宝泉寺24世・松泉寺32世遷化 令和5年6月6日 通夜 6月7日 葬儀

令和5年5月31日、甘楽町小幡 宝泉寺住職 兼見昌孝老師(世寿64歳)が遷化されました。御老師は同町松泉寺の住職を長く勤められ、晩年には宝泉寺住職に就任し、両寺の寺門興隆に尽くされておりました。通夜並びに葬儀は、かぶら聖苑に於いて、御本寺宝積寺様を乗炬仏事師に拝請し、通夜導師を陽雲寺様、奠湯仏事師を興嚴寺様、奠茶仏事師を福嚴寺様がお勤めされ、近隣寺院により執り行われました。



## 向陽寺寺族逝去 令和5年2月1日 通夜 2月2日 葬儀

令和5年1月27日、向陽寺寺族 織田澤きよの様(世寿97歳)がご逝去されました。葬儀はかぶら聖苑にて、御本寺高崎市仁叟寺様を乗炬師に拝請し、しめやかに執り行われました。多年にわたり、寺族として向陽寺を支えてこられました。



## 寺族会研修 令和5年10月26日

富岡メモリードホール様のご協力により、エンディングノートによる終活についての話や普段なかなか見ることのできない湯灌、納棺の様子を実演していただきました。フラワーアレンジメント教室では個々に作品を制作し、とても有意義な研修会となりました。



## ドラマ「ハヤブサ消防団」撮影



陽雲寺



鳴沢不動尊

十三教区の寺院がドラマのロケ地として使われました。

令和5年7月から9月の木曜夜9時にテレビ朝日で放送されたドラマ『ハヤブサ消防団』のロケ地として、富岡市・甘楽町・下仁田町のさまざまな箇所が使われましたが、十三教区の陽雲寺(富岡市妙義町菅原)・鳴沢不動尊(富岡市上丹生)もロケ地として使われました。

テレビ朝日『ハヤブサ消防団』ホームページ <https://www.tv-asahi.co.jp/hayabusa-syobodan/>

## イタリア団参のご案内

新型コロナウイルス感染症により延期しておりました大般若経イタリア普伝寺寄贈プロジェクトの集大成「イタリア団参」ですが、令和7年5月下旬に実施することといたしました。詳細が決まり次第、改めてご連絡いたします。



イタリア 普伝寺

## 編集後記

教区長の任期満了に伴い、広報委員長も任期満了となりました。委員長交代にあたり、本号は記事も多くなりましたので、紙面を一部リニューアルさせていただきました。

今後も本教区および各寺院の活動にご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。



ウクライナ支援や大般若経プロジェクトは左記13教区ホームページからご覧になれます

<http://gunma13.main.jp/>